

# みみすまの自己紹介

特定非営利活動法人  
みみをすますプロジェクト

〒060-0808

北海道札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2F  
札幌市市民活動サポートセンター内

090-3390-9946

e-mail info@mimisuma-sapporo.com

HP <http://www.mimisuma-sapporo.com>

2011年3月11日の東日本大震災以来、「東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌（愛称：札幌むすびば）」の中の1つのチームとして被災地支援・避難者支援・福島などの在住者支援、特に子ども達の保養支援活動を中心に活動してきた「みみをすますプロジェクト」は、2013年12月、さらなる長期的な活動を見据え、長く継続できる専門性を持った団体になるために、NPO法人を設立いたしました。

特定非営利活動法人みみをすますプロジェクトは、福島だけではなく放射能と津波の被災地域への支援、そこに住む在住者への支援、全国に存在する避難者への支援、被災地へ戻る帰還者への支援、及びそこに関わるすべての子ども達に関する支援活動に取り組むことを目的として活動しています。

全国の団体とのネットワーク、行政機関や教育機関、医療機関、企業、市民との協働を力に保養プログラムの推進に務め、夏休み・冬休みの保養を計画・実施しています。また被災現地相談会（医療相談含む）を実施しながら、いのちをみつめ、小さな声にみみを澄ます活動を続けています。

## みみすまの活動

子ども達の保養（学習支援付保養）

被災現地相談会

被災現地子育て支援活動

保養のコーディネートやアドバイス

被災者支援交流活動

「ユニオンハート・みみすまぽっくる」  
の運営

避難を前提とした進学相談

札幌避難在住児童・生徒への学習支援

## みみすま \* 2015 ~ 2016

### ほっこりプロジェクト

浄土真宗本願寺派北海道教区による、高線量地域に住む家族の北海道での保養受け入れ事業の企画から実施までの全てをアドバイザーとして協働。

### 別海保養プロジェクト

ほっこりプロジェクトの単独版。マッチングなどのアドバイザーとして協働。塾単位の受け入れ活動で、今年度も福島県から10名の中学生が道東の別海町に一時保養にやってきました。

### 小学校の移動教室

福島県川俣町教育委員会が5ヶ年計画で実施する小学校の移動教室（宿泊学習）を企画・運営。今年度第1回目となる川俣町立福田小学校5・6年生の移動教室は、6月に北海道七飯町にて3泊4日で実施。

### 元気塾ユニオンハート &ユニオン・スキースクール

夏休みと冬休みに札幌市教職員組合や札幌友の会と共に避難児童・生徒向けの学習支援活動を主催。

### 学習支援付きサマーキャンプ 「さとやま留学in大沼2015」

福島県や栃木県の小学3年生～6年生20名を対象に北海道七飯町にて7日間の保養キャンプを実施。大沼の湖沼の水質や生態調査、森の中でのホースロギングを通して環境保全の大切さを学び、自分のことは自分で行うトレーニングで生きる力を養いました。

### キョマッププロジェクト

福島県川俣町立川俣中学校と北海道岩見沢市立栗沢中学校のサッカー部交流事業。今年度2回目となる夏休みの一時保養を兼ねた交流合宿を岩見沢市栗沢町で実施。サッカー部保護者会が中心となって実行委員会形式で運営。アドバイザーとして全面的に協働。

### 現地相談会

高線量地域で、大小さまざまな避難・移住・一時保養の相談会を実施。311受入全国協議会のメンバーとして準備や当日の運営を担う。

### みみすまワールドカフェ 2015

「市民科学者国際会議2015」とのコラボ事業。被災地の送り出し関係団体と保養や移住などの受け入れ活動団体計12団体が一堂に会して、日頃の活動の問題点を共有し、どのような解決策を模索すべきか等、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

### 地域で見守る被災者支援交流広場 「元気ハウスぽっくる」終了

いわゆるシェアハウスとして機能できるスペースを札幌市内で運営してきましたが、2年間の契約終了で発展的に解消することとなり、8月末を以て閉所しました。一時保養者など夏の利用者数は7月44人、8月42人。2年間の延べ利用者数437人。多くの方達のご協力に感謝いたします。

